



No. 10
 平成5年(1993)6月15日
 編集・発行
 津田左右吉博士顕彰会
 (美濃加茂市太田町3425-1)
 TEL0574-25-4141

津田左右吉博士記念室が

早稲田大学に完成

このたび早稲田大学において、「津田左右吉博士記念室」が開設され、オープニング・セレモニーが、六月十日開催されました。同記念室は、大学本部構内2号館(旧図書館)二階に設置され、津田博士の遺品や旧蔵書が展示されています。

セレモニーには、小川宙丸大学総長、正田健一郎同所長、栗田直躬名誉教授があいさつをされ、津田博士の業績などを紹介されました。

あいさつのなかで、津田博士の御寄附で「津田奨学基金」が開設され、三百名を超える学生が既に給付を受けている。武蔵野市の自宅も寄贈され津田記念公園となっている。同

じく早稲田大学の前身東京専門学校卒業生である朝河博士(歴史学者、哲学博士)についても顕彰活動

を考えている。今後は、津田史学を継承し、発展させ、明治維新から出発して、近現代史の研究をさらに進めその研究の基点となる場になりたいと考えている。津田博士の真実を真実のこととして明らかにする御態度は、日常の生活の隅々にまでわたっていた。博士の高潔な人柄は稀にみるも



のである。両博士の生誕百二十年を記念して顕彰事業を計画していると抱負を述べられました。

また、顕彰会から大沢功副会長と事務局が出席し、また、遺族として中山初子さんが出席されました。

津田左右吉博士胸像除幕式より

早稲田大学名誉教授 栗田 直躬



ご指名をいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

當下米田小学校は、元の名は文明学校であったと伺って居ります。文明という近代日本の発展の歴史を表徴する言葉を以って始まった学校であることに私は感を深くいたします。津田先生はこの地で生まれ、この学校で育ちました。そしてただいまの皆様のお話にありましたように、生涯学問に専心して、世俗に拘はりませんでした。それは確かな事実でございます。ただし、それは世間から目をそむけ或は逃避していた、というので

文化を逆転するものである。そのような人道的精神に反する組織は長続きすることはできない。従って共産党の独裁の上に成り立つソビエトロシアの体制が解体することは、人類にとって望ましい。それは単なる希望ではなくして、半世紀以内に実現するであらう。それには、時の民衆の自覚に俟たなければならぬ。』と明言して居られます。しかし、半世紀も経たない、三十年余りにしてロシアはごらんの通りであります。私どもは、学問的な研究によって鍛えられた眼力の、或は論理的思考の鋭敏さに、改めて驚きまた感じ入るものであります。

ところが、ロシアがあの一九一七年の大革命によって、いわゆるプロレタリアート独裁が実現したはずでありながら、いかにしてその体制が崩れ去ったかということでありませぬ。それについて思いますのは、ただいまの来賓の方のお言葉にありましたように、何はともあれ一番大切なのはデモクラシーですね。民主主義の精神であり体制であります。ところが、民衆の生活を救うはずの大革命によって、民主制はそだちもせず捻りも



したのであります。これは実に注目すべき研究の成果であり、日本民族の歴史の中で平民文化が成熟した事実を学問上から立証したことは、世界に対して大きな意味を持つものであります。

（文化といえは他の民族の場合、貴族乃至支配者階級の文化であった。）これについてもうちよっと時間をいただいて申し上げますと、国民の一人一人が自覚し、自分のことは自分でしまつする、よそから支えられ、或は上から与えられるもので生きて行くだけでは、個人も社会も立ちゆきません。庶民自身できまりを立て生活をすすめて行く、これがデモクラシーの基本であり、これができなくてはデモクラシーは成長しないでしよう。デモクラシーは誠に結構であります。先程来賓の方のお言葉にありました自由というものはここから生まれますし、自由ほど尊いものはない。その自由とて他から与えられるもの

ではなくて、人が自分で守ってゆくべきものでしよう。さてそういうことを可能にする一人一人の自覚、正しい考えかたを養うには、どうしたらいいのか。私は、それは教育に依ることが第一だと思ひます。教育も高等教育よりも特に幼時からの、小学校教育が大切だと思ひます。教育の中で最もやり甲斐のあるのは幼児の教育ではないでしょうか。こどもの時身につけたものは、生涯を通じて力をもち発展して行きます。その使命を果たしている下米田小学校に、人間のお手本のよいうな津田先生の像が建ちましたことには、深い感銘を覚えます。本日は多くの方々から、津田先生についてまたこの胸像について、数々のお言葉を伺ひましたが、私もそれにつらなりまして、貧しい慶賀と感謝の言葉を終ります。美濃加茂市の皆様ありがとうございます。

しなかつた。これはソビエトロシヤの民衆が、自分たちで民主主義的な方向に生活をすすめて、それを組織することをせず、またその力がなかつたからだ、というならば、私もその通りだと思ひます。おそらく血を見ながら大革命を実現させたものの、一般民衆の実状はロマノフ王朝を崩潰させたところと、あまり変わらなかつたのではないかと推測します。それならば、いかにして民主主義的な考えや生活を養い成長させて行くことができるか、であります。これについては日本の場合を想い出してみますと、かなりわかるように思ひます。津田先生によりますと、日本では鎌倉時代以降数世紀にわたる長い期間を通して封建制度を形成し、それを固定したのが江戸時代であり、その江戸時代を先生は平民文化の時代と

したのであります。これは実に注目すべき研究の成果であり、日本民族の歴史の中で平民文化が成熟した事実を学問上から立証したことは、世界に対して大きな意味を持つものであります。

（文化といえは他の民族の場合、貴族乃至支配者階級の文化であった。）これについてもうちよっと時間をいただいて申し上げますと、国民の一人一人が自覚し、自分のことは自分でしまつする、よそから支えられ、或は上から与えられるもので生きて行くだけでは、個人も社会も立ちゆきません。庶民自身できまりを立て生活をすすめて行く、これがデモクラシーの基本であり、これができなくてはデモクラシーは成長しないでしよう。デモクラシーは誠に結構であります。先程来賓の方のお言葉にありました自由というものはここから生まれますし、自由ほど尊いものはない。その自由とて他から与えられるもの

しなかつた。これはソビエトロシヤの民衆が、自分たちで民主主義的な方向に生活をすすめて、それを組織することをせず、またその力がなかつたからだ、というならば、私もその通りだと思ひます。おそらく血を見ながら大革命を実現させたものの、一般民衆の実状はロマノフ王朝を崩潰させたところと、あまり変わらなかつたのではないかと推測します。それならば、いかにして民主主義的な考えや生活を養い成長させて行くことができるか、であります。これについては日本の場合を想い出してみますと、かなりわかるように思ひます。津田先生によりますと、日本では鎌倉時代以降数世紀にわたる長い期間を通して封建制度を形成し、それを固定したのが江戸時代であり、その江戸時代を先生は平民文化の時代と

したのであります。これは実に注目すべき研究の成果であり、日本民族の歴史の中で平民文化が成熟した事実を学問上から立証したことは、世界に対して大きな意味を持つものであります。

（文化といえは他の民族の場合、貴族乃至支配者階級の文化であった。）これについてもうちよっと時間をいただいて申し上げますと、国民の一人一人が自覚し、自分のことは自分でしまつする、よそから支えられ、或は上から与えられるもので生きて行くだけでは、個人も社会も立ちゆきません。庶民自身できまりを立て生活をすすめて行く、これがデモクラシーの基本であり、これができなくてはデモクラシーは成長しないでしよう。デモクラシーは誠に結構であります。先程来賓の方のお言葉にありました自由というものはここから生まれますし、自由ほど尊いものはない。その自由とて他から与えられるもの

ではなくて、人が自分で守ってゆくべきものでしよう。さてそういうことを可能にする一人一人の自覚、正しい考えかたを養うには、どうしたらいいのか。私は、それは教育に依ることが第一だと思ひます。教育も高等教育よりも特に幼時からの、小学校教育が大切だと思ひます。教育の中で最もやり甲斐のあるのは幼児の教育ではないでしょうか。こどもの時身につけたものは、生涯を通じて力をもち発展して行きます。その使命を果たしている下米田小学校に、人間のお手本のよいうな津田先生の像が建ちましたことには、深い感銘を覚えます。本日は多くの方々から、津田先生についてまたこの胸像について、数々のお言葉を伺ひましたが、私もそれにつらなりまして、貧しい慶賀と感謝の言葉を終ります。美濃加茂市の皆様ありがとうございます。

しなかつた。これはソビエトロシヤの民衆が、自分たちで民主主義的な方向に生活をすすめて、それを組織することをせず、またその力がなかつたからだ、というならば、私もその通りだと思ひます。おそらく血を見ながら大革命を実現させたものの、一般民衆の実状はロマノフ王朝を崩潰させたところと、あまり変わらなかつたのではないかと推測します。それならば、いかにして民主主義的な考えや生活を養い成長させて行くことができるか、であります。これについては日本の場合を想い出してみますと、かなりわかるように思ひます。津田先生によりますと、日本では鎌倉時代以降数世紀にわたる長い期間を通して封建制度を形成し、それを固定したのが江戸時代であり、その江戸時代を先生は平民文化の時代と

したのであります。これは実に注目すべき研究の成果であり、日本民族の歴史の中で平民文化が成熟した事実を学問上から立証したことは、世界に対して大きな意味を持つものであります。

（文化といえは他の民族の場合、貴族乃至支配者階級の文化であった。）これについてもうちよっと時間をいただいて申し上げますと、国民の一人一人が自覚し、自分のことは自分でしまつする、よそから支えられ、或は上から与えられるもので生きて行くだけでは、個人も社会も立ちゆきません。庶民自身できまりを立て生活をすすめて行く、これがデモクラシーの基本であり、これができなくてはデモクラシーは成長しないでしよう。デモクラシーは誠に結構であります。先程来賓の方のお言葉にありました自由というものはここから生まれますし、自由ほど尊いものはない。その自由とて他から与えられるもの

